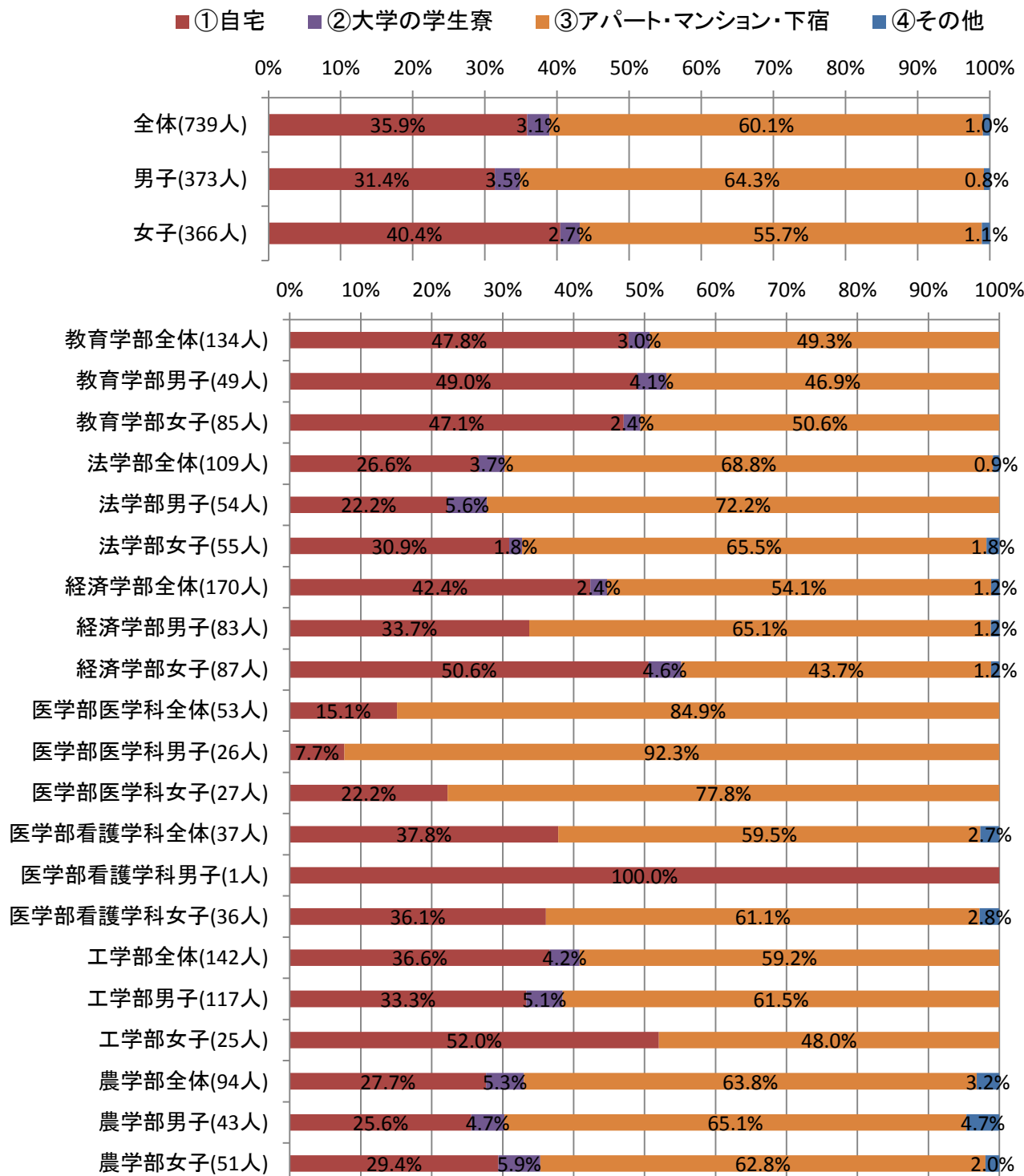


3 経済状況

(1)住居の形態

問7 あなたが現在住んでいるのは次のうちのどれですか。

住居形態については、全体の6割強が下宿生となっており、女子学生に比べて男子学生のほうが下宿生の割合が7割弱と高い割合となっています。また、学部別に見れば、教育学部の自宅生が5割弱と他学部と比べて高い水準にあります。一方で、医学部の自宅生が15%程度となっており、他学部と比べて低い水準にあることがわかります。その他、全学部を通じて女子学生のほうが自宅生の割合が高くなる傾向にあります。

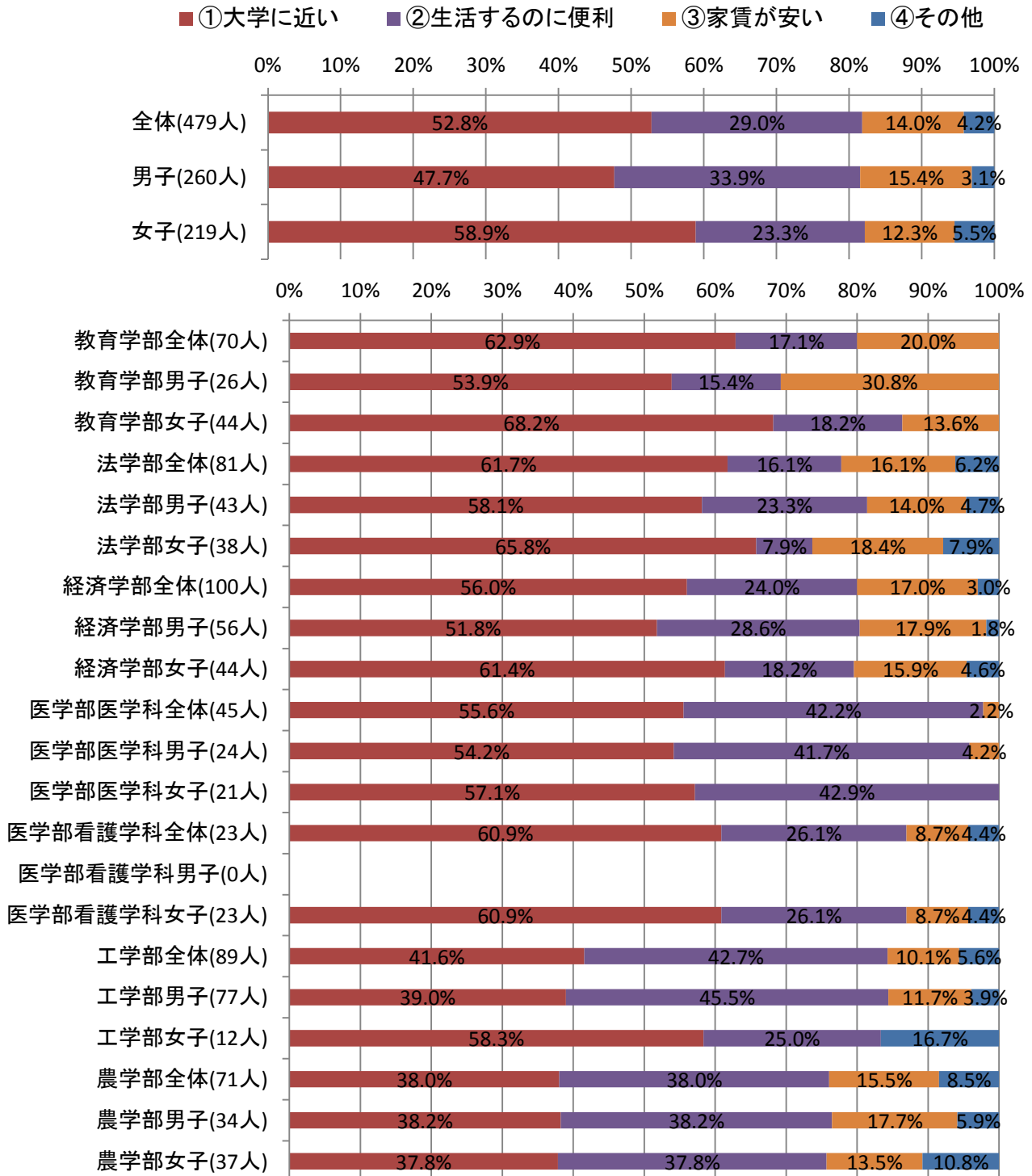


(2)住居を選んだ理由

問8から問14まで、現在、自宅以外に住んでいると回答した方におたずねします。

問8 現在の住居を選んだのは次のどの理由からですか。

住居の選択理由としては、全体の半数程度が大学に近いという「距離」で選んでおり、3割弱が「利便性」で選んでいます。男女別で見れば、女子学生のほうが1割程度、大学に近いという理由で選択している学生の割合が高くなっています。学部別にみれば、幸町キャンパスに所属する学部については大きな偏りが見られないが、医学部の学生は家賃が安いという「経済的理由」で選択している学生が他学部比べて非常に少ないのが特徴といえます。



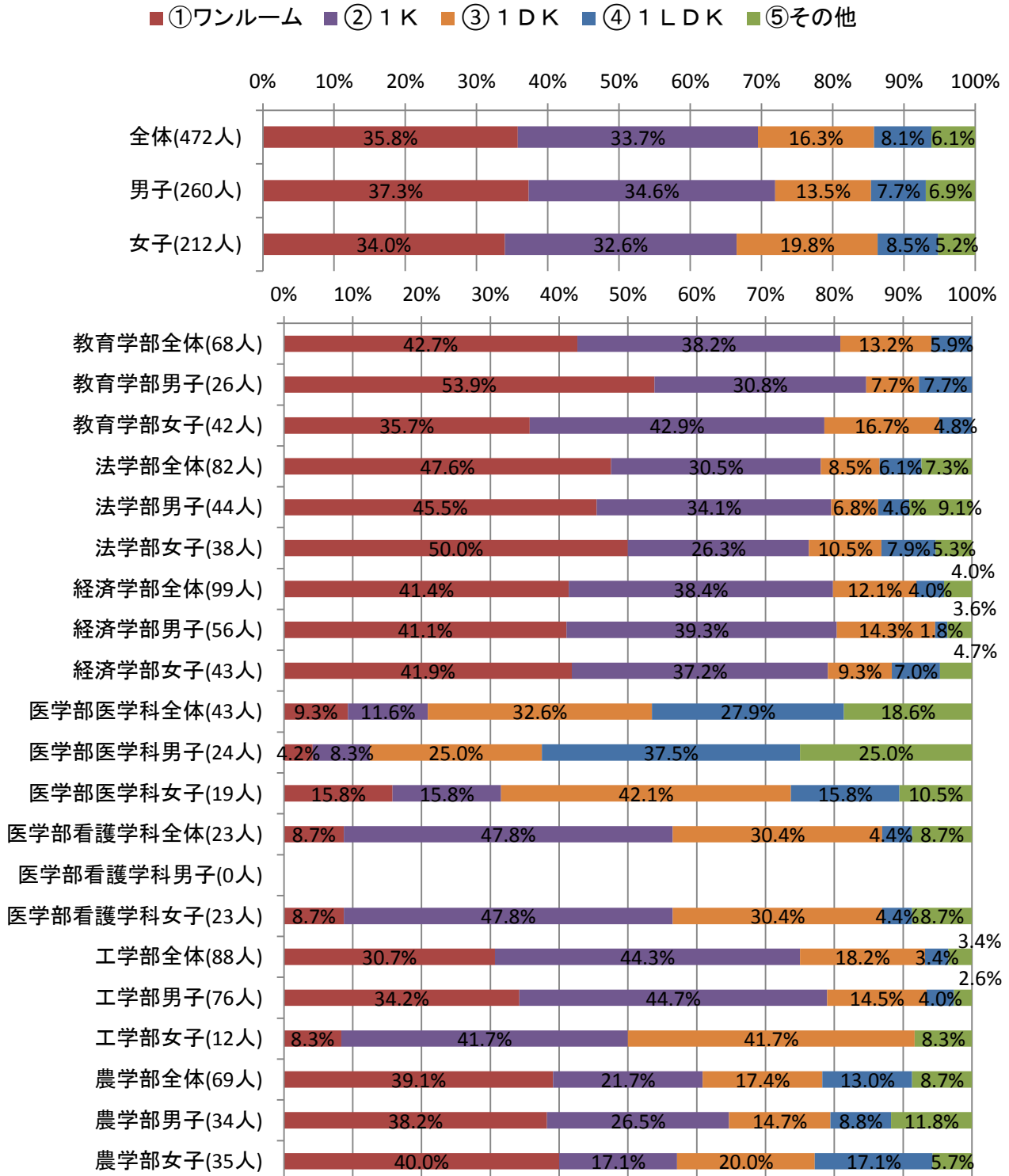
問9 問8の質問で「4.その他」を選択した方は、その内容を記述してください。

教育学部			
男子学生	[回答なし]
女子学生	[回答なし]
法学部			
男子学生	[・交換留学先から帰ってきたばかりで、現在授業を受けていないため。 ・高松に住む知人がたまたま空き部屋を持っていた為]
女子学生	[・気に入ったから ・周りが静かだと思ったから]
経済学部			
男子学生	[回答なし]
女子学生	[回答なし]
医学部医学科			
男子学生	[回答なし]
女子学生	[回答なし]
医学部看護学科			
男子学生	[回答なし]
女子学生	[・祖母の家]
工学部			
男子学生	[・単車がおけるから。 ・林町キャンパスと本学キャンパスの真ん中に位置していたから ・バイトと大学の中間点だから。]
女子学生	[・工学部と本学の中間地点 ・本学と工学部の真ん中]
農学部			
男子学生	[・いろいろ ・実家通い]
女子学生	[・ロフトがある、ユニットバスでないこと、農学部と本学の中間であること、家賃が安いこと ・農学部だから中間地点の家を探していたから ・少しでも生活費を節約するため]

(3) 部屋の間取り

問10 現在の住居の部屋の間取りはどのタイプでしょうか。一つ選んで教えてください。

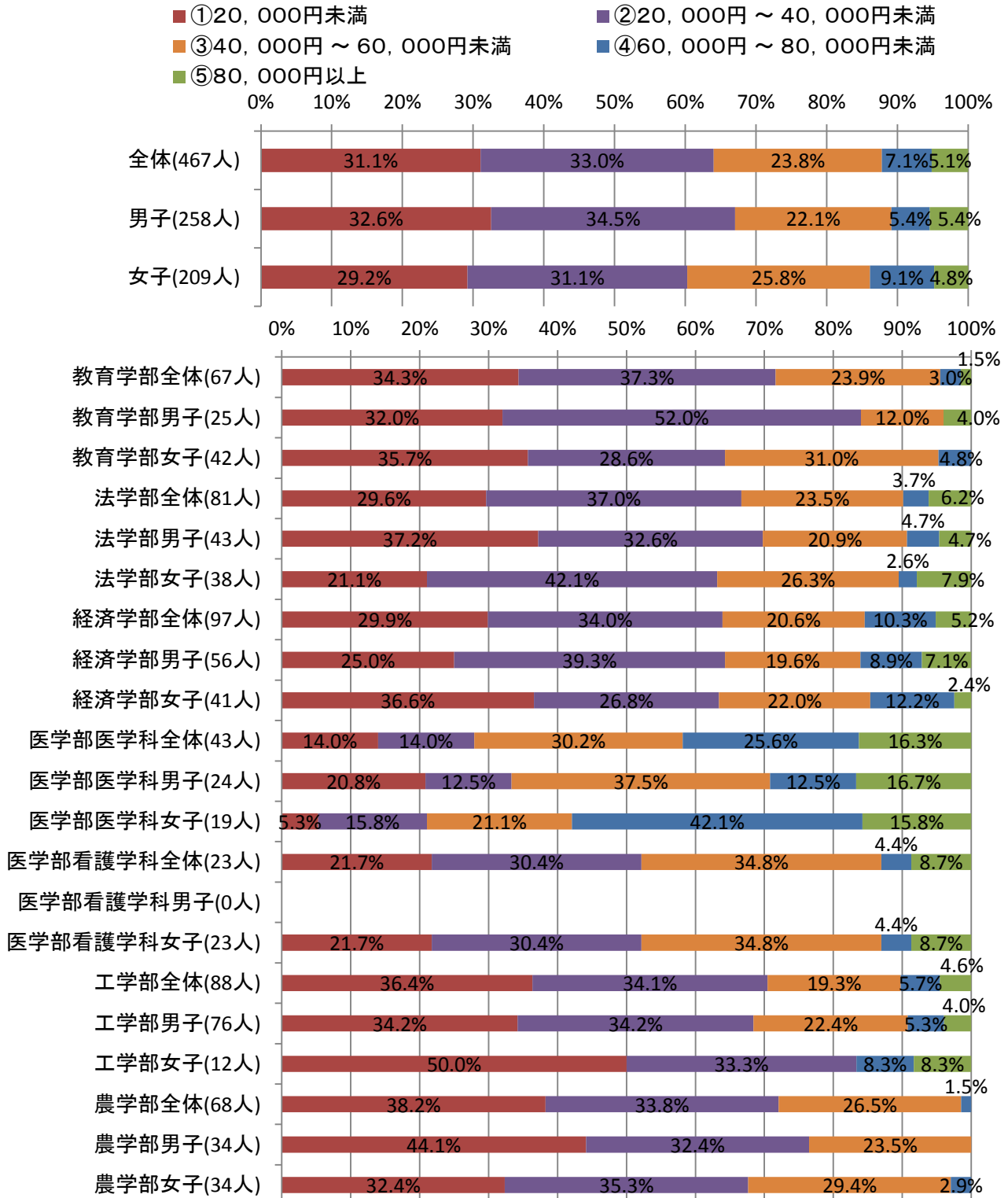
間取りについてみれば、全体ではワンルームと1Kでほぼ7割占めていることがわかります。全体の傾向として、男女別では大きな偏りはみられません。学部別で見れば、医学部の学生と工学部女子のワンルーム選択率が他学部に対して低い水準にあり、部屋数の多い間取りを選ぶ傾向にあることがわかります。



(4) 1ヶ月の仕送り額

問11 あなたの仕送り額(家賃を除く)はいくらですか。

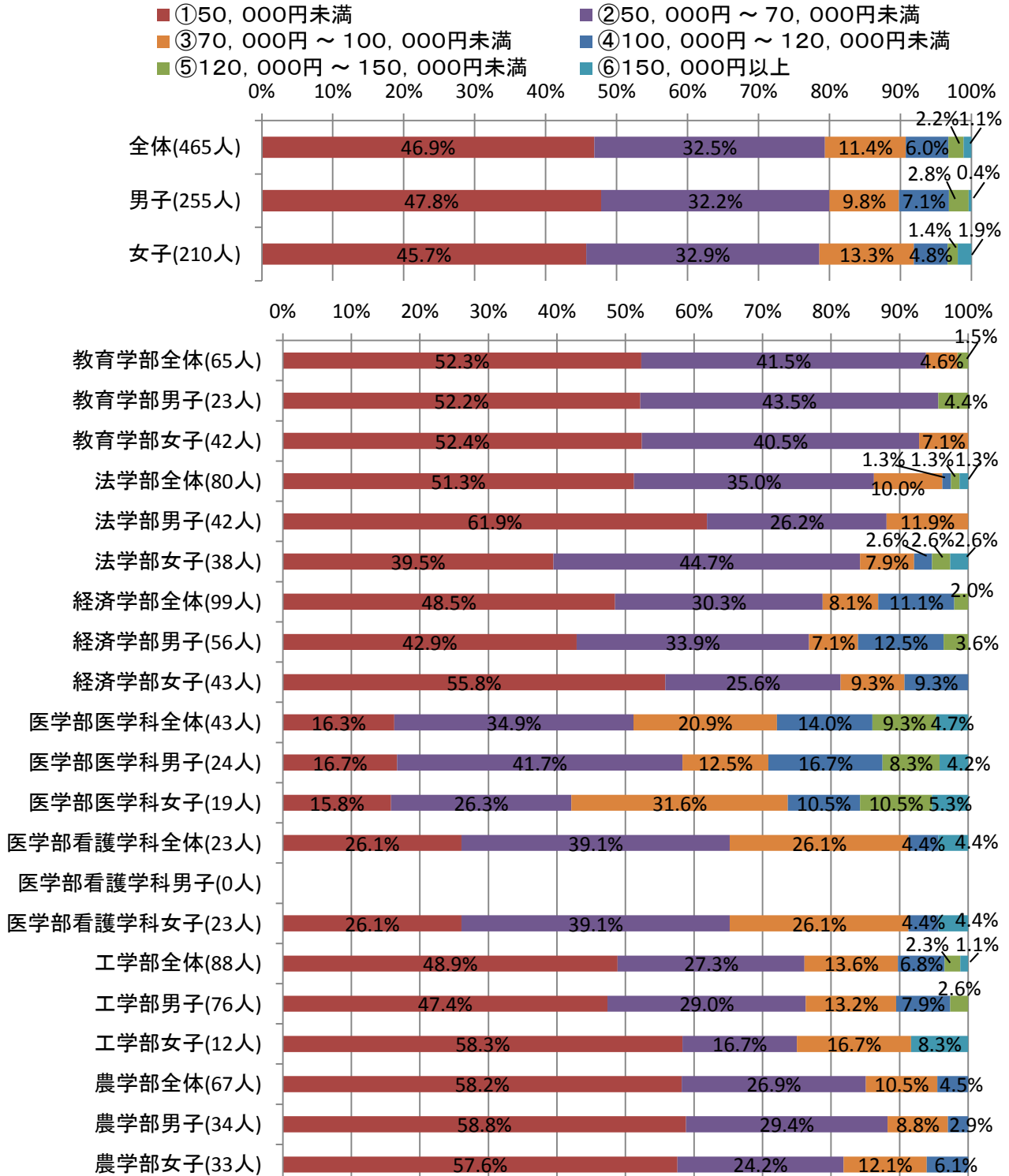
全体で見れば、仕送り額が4万円未満で全体の6割強を占めており、6万円以上の仕送りは1割強となっています。男女別の大きな差は見られません。学部別にみれば、医学部の仕送り額は他学部よりも高い水準となっており、医学部医学科では6万円以上の仕送りが4割強を占めています。



(5) 1ヶ月の支出額

問12 あなたの最近1年間における1ヶ月の支出の平均額(授業料は除きます)はいくらですか。

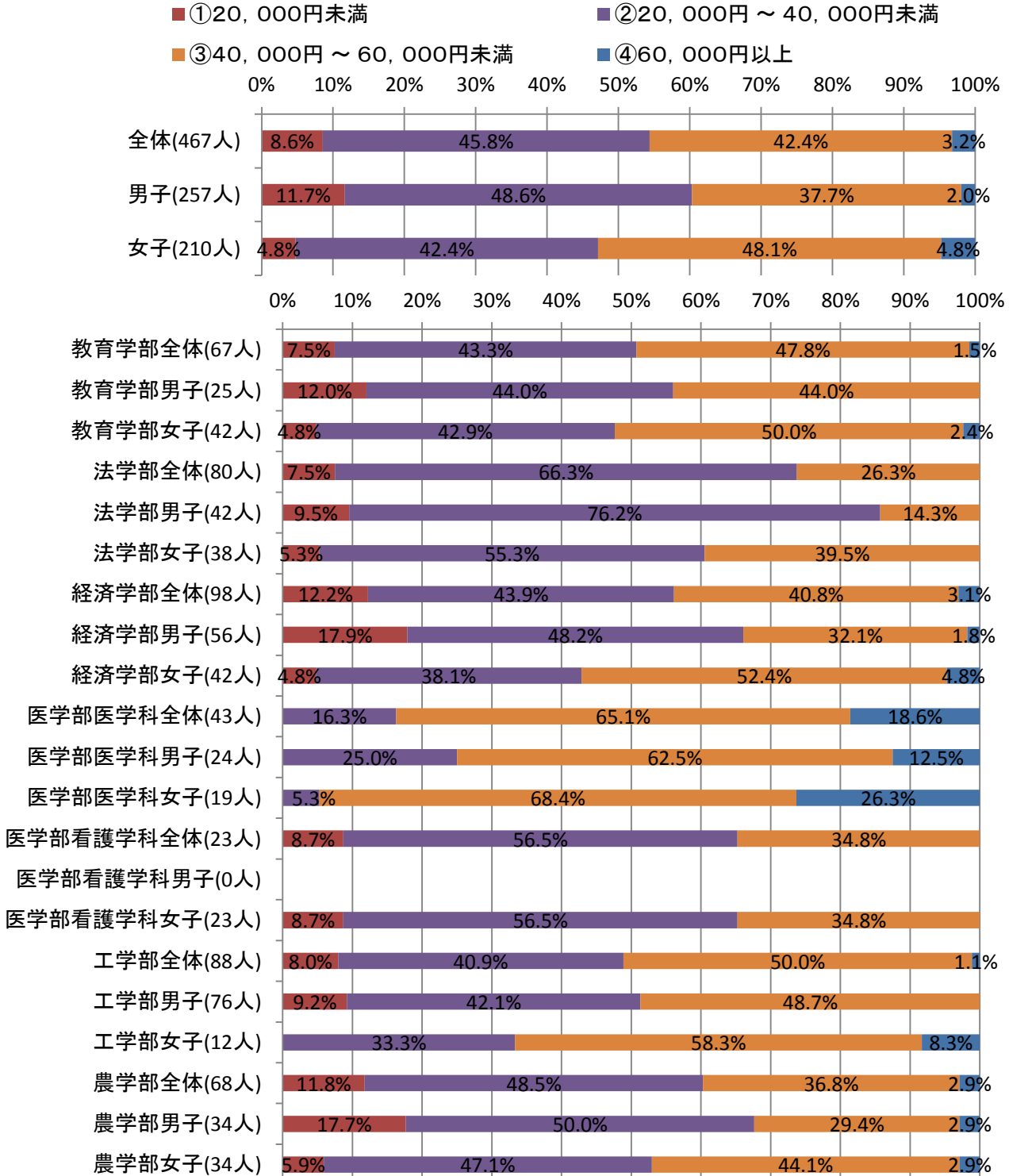
全体で見れば、1ヶ月の支出額5万円未満が半分弱を占めており、7万円未満で8割弱となっています。男女別の大きな差は見られません。学部別で見れば、医学部学生の支出額が他学部の水準よりも高くなっており、医学科では15%程度の学生が12万円以上の支出となっています。



(6) 1ヶ月の住居費

問13 あなたの1ヶ月の住居費はいくらですか。

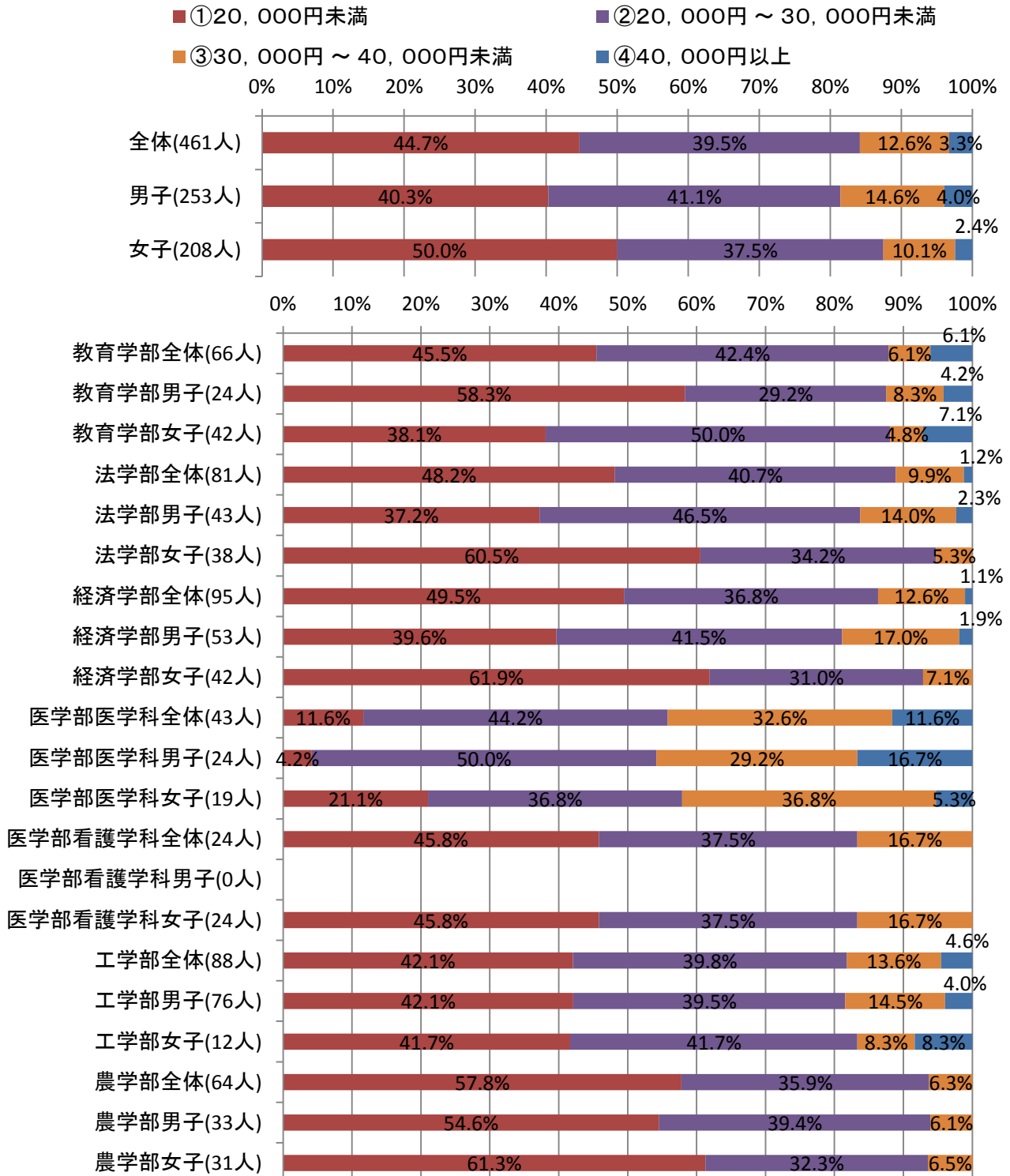
住居費に関して、全体で見れば5割強の学生が家賃4万円未満となっており、6万円以上の学生は3%程度となっています。男女別で見れば、若干、男子学生のほうが安い家賃を選ぶ傾向にあります。学部別で見れば、法学部男子が他学部に比べて安い家賃を選ぶ傾向にあり、4万円未満の割合が約85%となっています。医学部医学科の学生は男女ともに高い家賃を選ぶ傾向にあり、家賃4万円以上の割合が医学科全体で8割を超えています。



(7)1ヶ月の食費

問14 あなたの最近1年間における1ヶ月の食費の平均額はいくらですか。

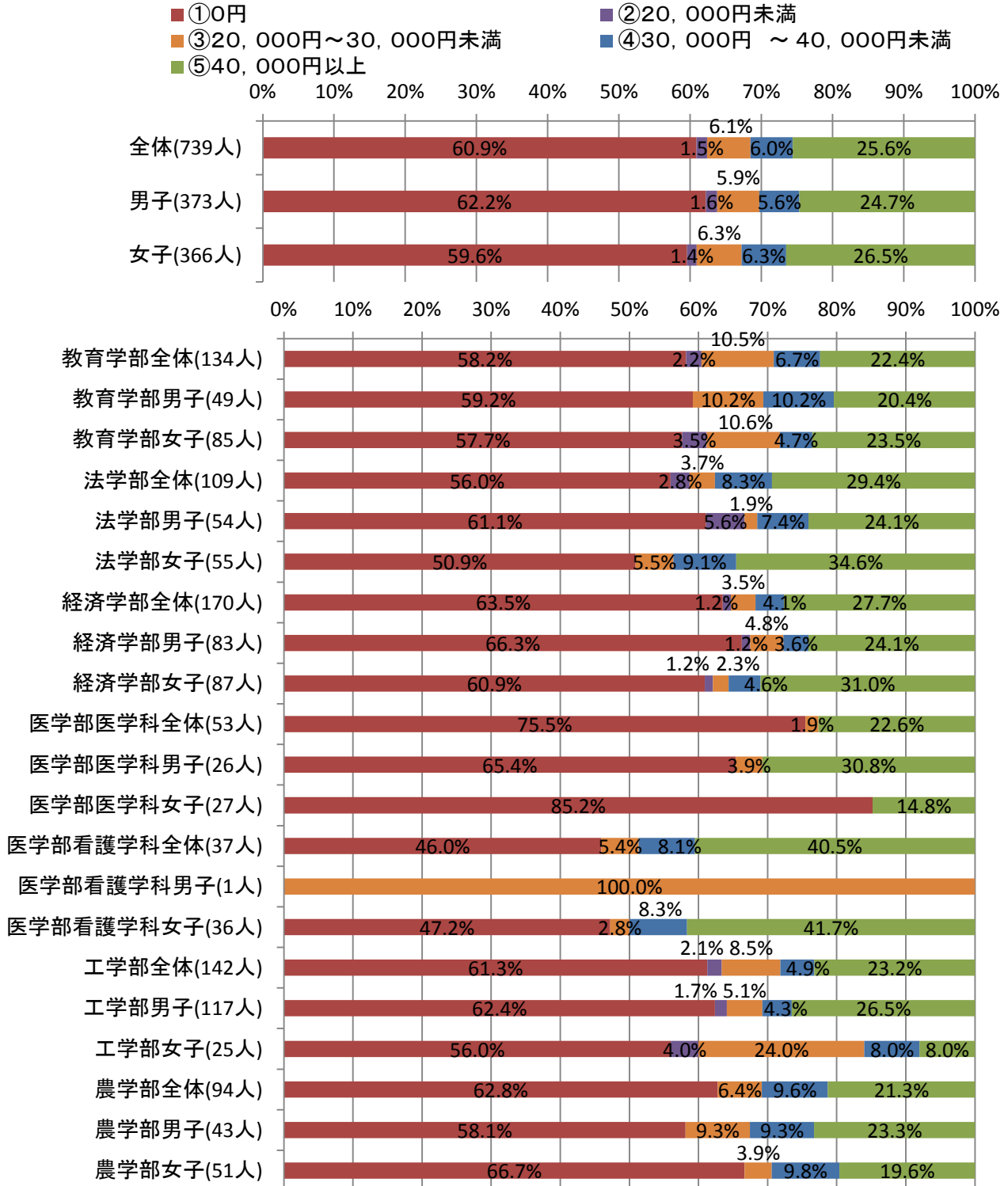
食費について、全体で見れば2万円未満が5割に迫る割合となっており、3万円未満で全体の8割を超えています。男女別にみれば、女子学生のほうが食費にかける金額が少ない傾向にあります。学部別で見れば、食費についても医学部医学科の支出額は他学部に比べて高い傾向にあり、3万円以上食費にかける割合が4割をこえています。



(8)1ヶ月の奨学金

問15 あなたの1ヶ月の奨学金はいくらですか。

全体では概ね、非受給者の割合が60.9%程度で最も高く、ついで4万円以上の受給者が25.6%程度という結果になっています。受給しているが、4万円未満の受給者の割合はわずかです。医学部以外の学部では、受給額の割合は概ね同じですが、医学部は学科間で様相が異なっていて、医学部医学科では非受給者の割合が75.5%と他の学部よりも高い一方で、看護学科では46%と低くなっており、また、4万円以上の受給者の割合が40.5%と他の学部より高くなっている特徴があります。

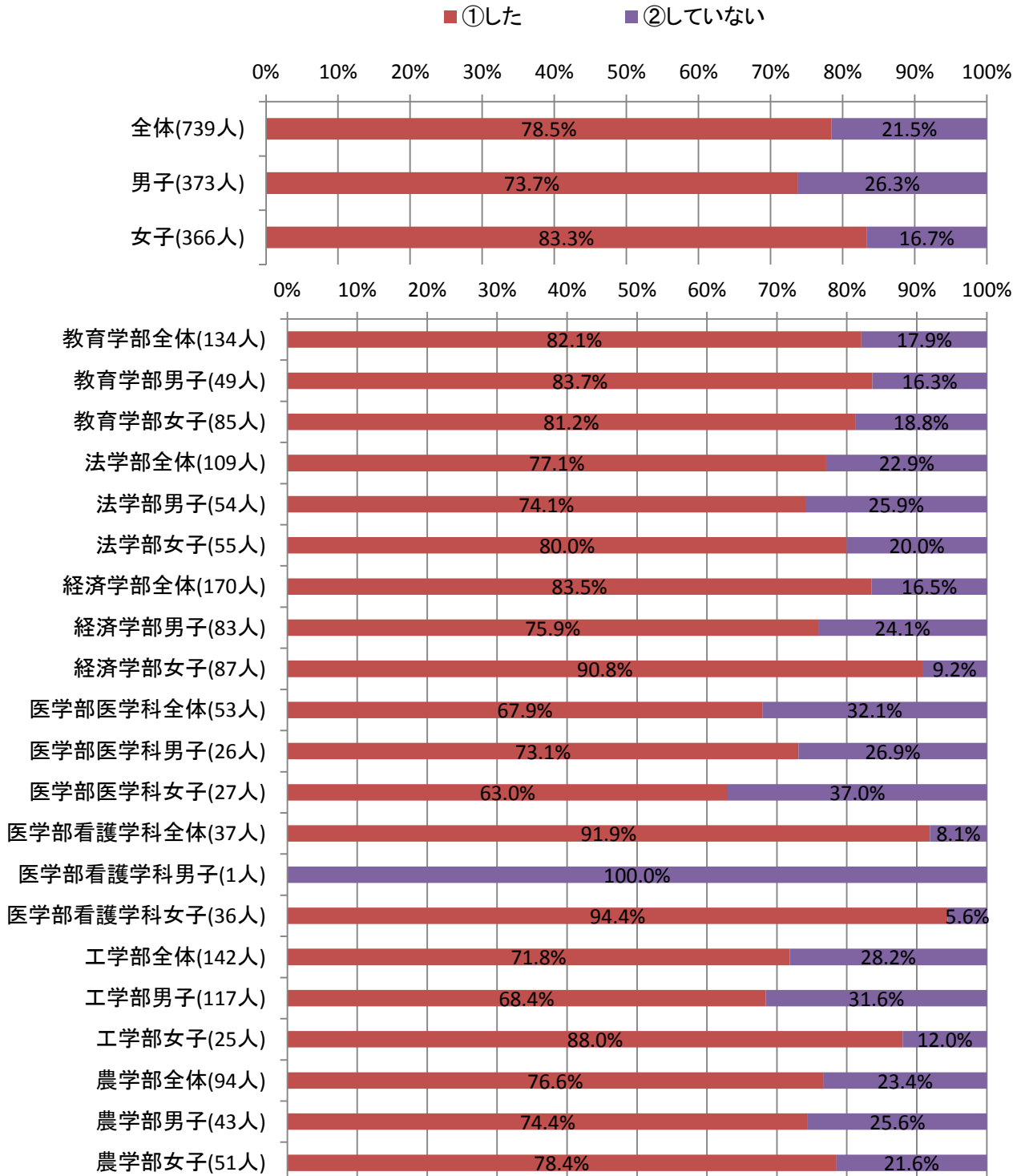


(9) 過去1年間のアルバイト経験

問16 あなたは最近1年間にアルバイトをしましたか。

全体では、アルバイト経験のある学生は78.5%であり、男子と女子で比較すると女子のほうが10%程度高い傾向でした。

学部ごとに見てみると、男女込みで全体で平均より高いのは、教育学部、経済学部、医学部看護学科で、平均より低いのは法学部、医学部医学科、工学部、農学部でした。特に、医学部では、医学科において女子のアルバイト経験ありの学生の割合が63%と低い一方で、看護学科ではほとんどの学生がアルバイト経験ありと回答していました。

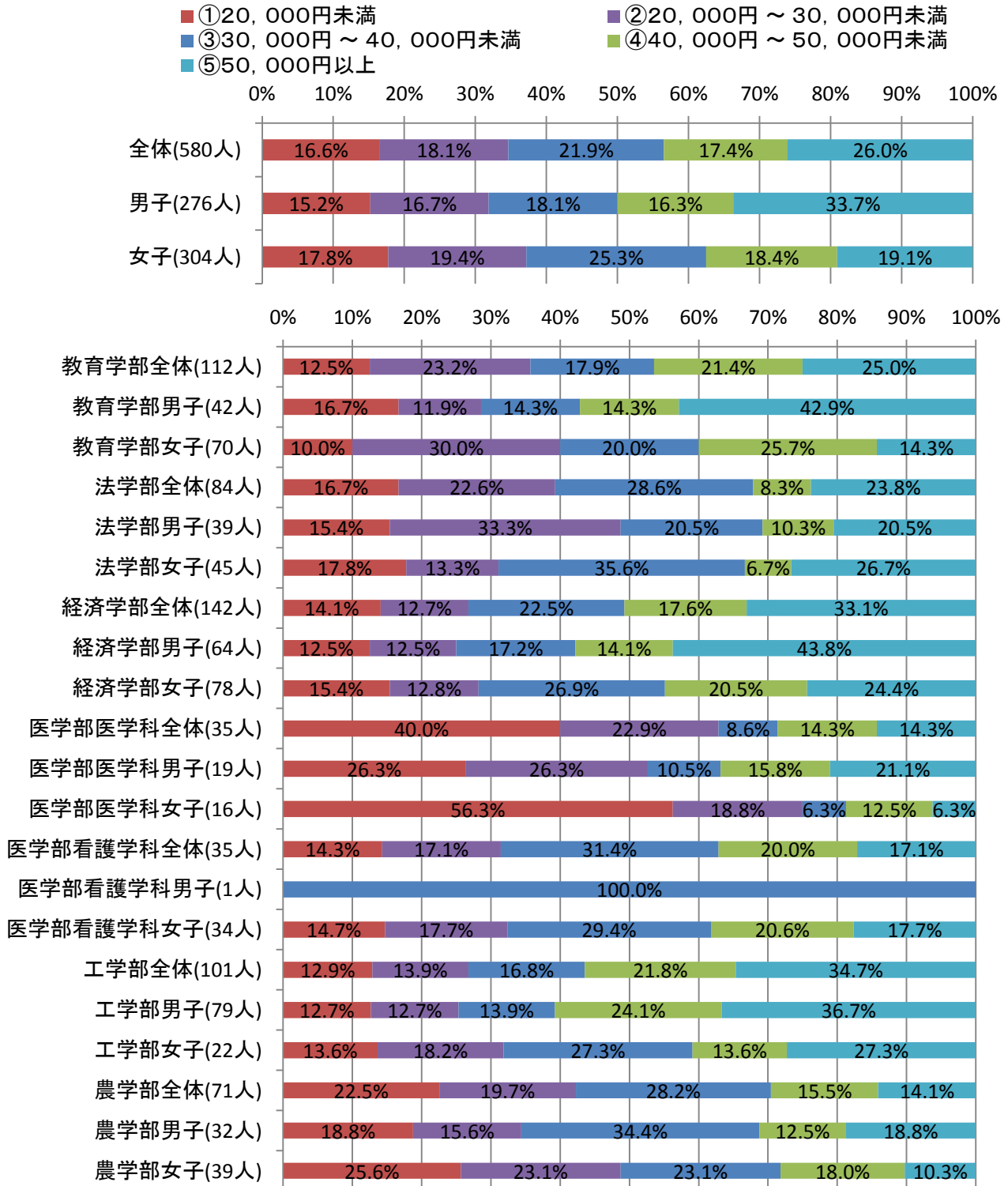


(10) 1ヶ月のアルバイト収入

問17から問19まで、アルバイトをしたと回答した方におたずねします。

問17 あなたの1ヶ月のアルバイト収入の平均額はいくらですか。

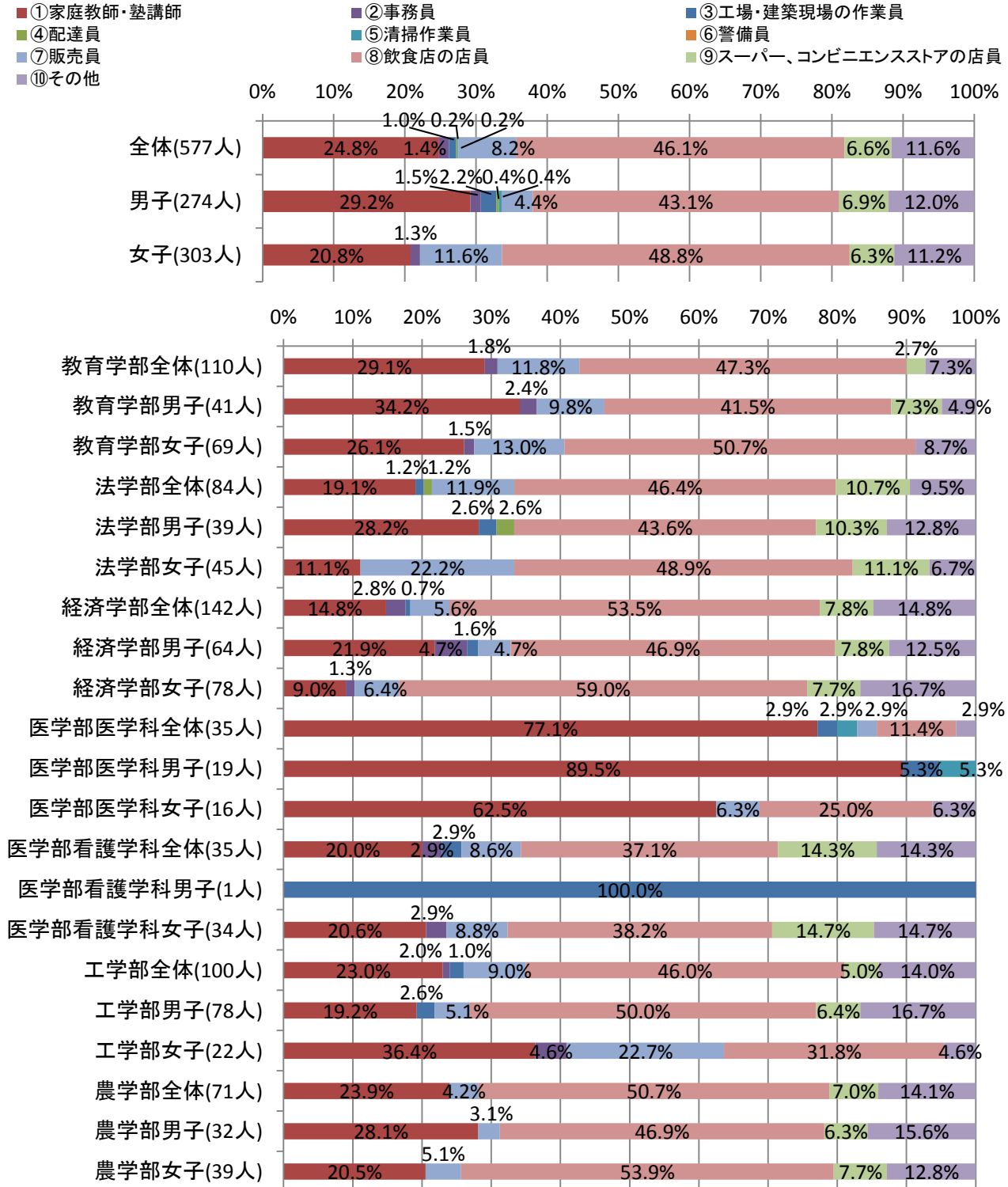
女子の方がアルバイトをしている割合が多い反面、男子の方が収入が多い傾向があり、3分の1以上が50,000円以上の収入を得ています。特に、教育学部と経済学部において4割を超える男子が50,000円以上の収入を得ている点は特筆すべきといえます。医学部医学科は全体的に収入額が少ない傾向にあります。



(11) アルバイトの主な職種

問18 あなたが主に従事したアルバイトを、次のうちから一つ選んで教えてください。

全体として最も割合が大きいのは飲食店の店員でおよそ46%、次いで家庭教師・塾講師でおよそ25%です。この2つは、学部を問わず定番のアルバイトといえます。医学部医学科においては、家庭教師・塾講師の割合が特に大きくなっています。



(12)アルバイト収入の主な用途

問19 アルバイト収入の主な用途は何ですか。次のうちから一つ選んで教えてください。

すべての学部において、生活費と教養・娯楽費に充てる割合が大きくなっています。全体的に、男子は生活費に充てる傾向があり、特に教育学部や農学部では約半数が生活費に充てています。逆に医学部医学科、特に女子は生活費に充てる割合が比較的少ない傾向にあり、収入額が少ない傾向にあること(問17)との関連がうかがえます。

